

教科	科 目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	製 図	2	2	デザイン	選択	デザイン製図 実教出版

1. 学習の到達目標

パッケージや立体物を制作するために必要な図面の見方や書き方を身につけます。どこにどのような表示をすればいいのか、誰が見てもわかりやすい図面を書くための判断力を養っていきます。実際に考案した形状を図面に起こし、提案できる技術を身につけます。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の基準	製図に関する基礎的技術について関心を持ち、デザイン分野に生かすよう創造的、実践的に取り組んでいる。	立体図から展開図を起こすための適切な表示法を考える。	デザイン分野における基礎的な技術を身につけ、様々な作品制作において応用し、的確に表現できる。	図面の見方が理解できている。適切な表示法が理解できている。他の作品制作に応用できることを知っている。
評価の方法	出席状況 授業態度 作図プリント 定期考査 アイデア 作品 提出期限を守る			

3. 教科からのメッセージ

デザインでは2, 3年の専門科目の中で『プロダクトデザイン』という立体制作に取り組む授業があります。これは工業製品のモデル製作を主とするものですので、図面を書くこととなります。3年の『課題研究』でも図面制作が必要な人も出てくると思います。アイデアスケッチから図面を起こすことで、材料がどのくらいいるのかがわかり、計画的な制作をすすめていくことができます。機械や電気、建築製図に比べれば基本的な約束事は少なく、決して難しいものではありません。幅広いデザイン分野で仕事をしていくために身につける知識・技術に絞った学習内容です。

また自分で考案した形状の製品モデルを、図面化して提案する演習も行います。意匠権（デザインパテント）についても併せて学習します。

2年 製図 年間指導計画表 単位数（2単位）

目 標	製図をする上で必要な規約を踏まえて、制作図や設計図から立体形状を正しく読み取り、正しい図法で作りたい立体を図面に起こすことができる知識と能力を育てる。また、コンピュータなどを用いた立体表現の基礎を身につける。		
	大項目	小項目	時数
4 月	オリエンテーション	・デザイン分野における設計図の位置づけ	2
5 月	製図の規約	・正しい製図法とは ・製図の条件 ・尺度および線と文字 ・寸法記入法	12
6 月	三面図	・身の回りの製品を図面に起こす	8
9 月		・オリジナルデザイン作品製図・制作 (1) 意匠権セミナー ※意匠権についての知識	2
10 月		(2) デザインパテントコンテスト出品	12
11 月		(3) 箱物（家具など）	4
12 月	表現技法と応用	・表現技法	6
1 月		・パース・レンダリング	10
2 月		・コンピュータを用いた3D表現 (3Dプリンタでの表現)	14